NIPPON ANTENNA

取扱説明書

衛星放送・衛星通信受信用混合（分波）器

HF・FM・VHF・UHF・BS-IF・CS-IF帯域用TV共聴機器

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特　長

1. CSWP2型はCS-IF信号と地上放送波及び、BS-IF信号を混合（分波）する機器です。
2. SUVP2型及び、SWP2、SWP3はCS-IF信号及び、BS-IF信号と地上放送波を混合（分波）する機器です。
3. 各機種共電流通過型ですので、ブースタ（増幅器）やコンバータへの電源供給が容易に行えます。
4. アルミダイキャストケースは軽量、堅牢で耐食性、耐候性に優れています。

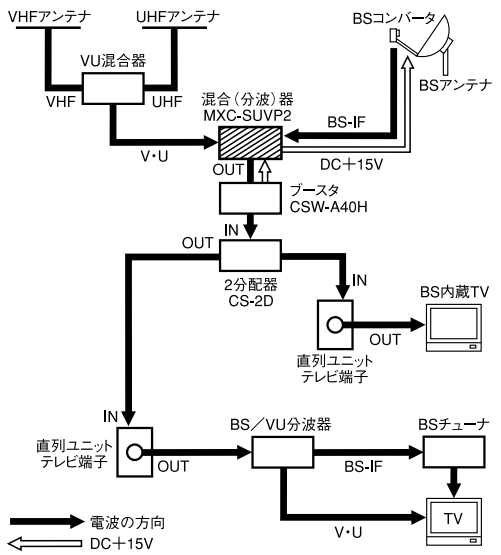
■取扱上の注意

●電源分離型ブースタを使用される場合、増幅部と電源部を結ぶ同軸ケーブルには、電源電圧が重畳されていますので、ケーブル接続部分で芯線と編組線が短絡しないように注意してください。もし短絡しますと、テレビに画像がでないばかりでなく、故障の原因になります。

●高所での機器取付作業には、足場と機器の落下等に十分ご配慮ください。

●本器の分解等は故障の原因になりますので、絶対にしないでください。

●使用例（BSとVHF・UHFの場合）



ポイント

●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付コネクタをご使用ください。

■標準性能表

型　名	周波数帯域（MHz）	通過帯域損失（dB以下）	阻止帯域減衰量（dB以上）	インピーダンス（Ω）	電圧定在波比（以下）	寸　法（mm）	重　量（g）	備　考
MXC-CSWP2（屋外用）	10～770	1.5	20	75	1.8	93（W）×81（H）×103（D）	390	HF・V・U／BS・CS混合（分波）器 ●各端子間電流通過型 ●最大　AC30V、1A　DC15V、0.5A
	1035～1335	2.0	20		1.8			
	1380～1770	3.0	15		2.0			
MX-CSWP2（屋外用）	10～770	1.5	20	75	1.8	86（W）×54（H）×28（D）	130	
	1035～1335	2.0	20		1.8			
	1380～1770	3.0	15		2.0			
MXC-SUVP2（屋外用）	10～770	1.5	20	75	2.0	93（W）×81（H）×103（D）	400	HF・V・U／BS・CS混合（分波）器 ●BS・CS端子とHF・V・U・BS・CS端子間電流通過型 ●最大　AC30V、1A　DC15V、0.5A
	950～1770	2.0	20		2.0			
	1770～1880	2.5	20		2.0			
MX-SWP2（屋内用）	10～770	1.3	20	75	1.6	57（W）×76（H）×20.5（D）	100	
	950～2150	2.5	18		2.5			
MX-SWP3（屋内用）	10～770	1.3	20	75	1.6	57（W）×76（H）×20.5（D）	100	
	950～1000	2.0	18		2.5			
	1000～2150	2.5	20		2.5			
	2150～2602	3.0	20		2.5			

●使用温度範囲　－10℃～＋40℃

日本アンテナ

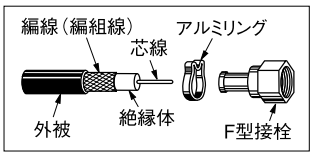
■ケーブルの加工方法と混合（分波）器取付方法

●同軸ケーブル加工法とF型接栓取付方法（別売品）

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

■ケーブルの名称（75Ω用）

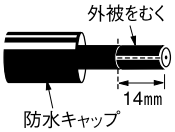


●アルミ箔付同軸ケーブル（FB型）の場合のアルミ箔処理は絶縁体と同様に加工してください。

●防水キャップはケーブルに合せて切断し、必ず先にケーブルに通しておきます。

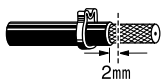
※屋内用混合（分波）器には、防水キャップは付属されておりません。

❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1㎜程度）



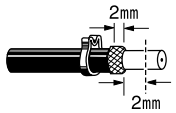
❷ 外被の皮をむきアルミリングを通しておきます。

❸ 外被から2㎜程度はなして編線（編組線）をていねいに切り落としてください。

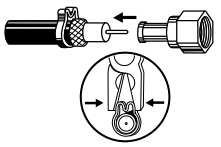


❹ 編線（編組線）をめくりあげます。

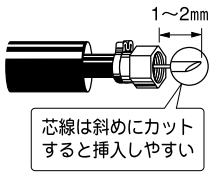
❺ 編線（編組線）から2㎜はなして絶縁体を切り、抜きとります。



❻ F型接栓を絶縁体（アルミ箔）と編線（編組線）の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



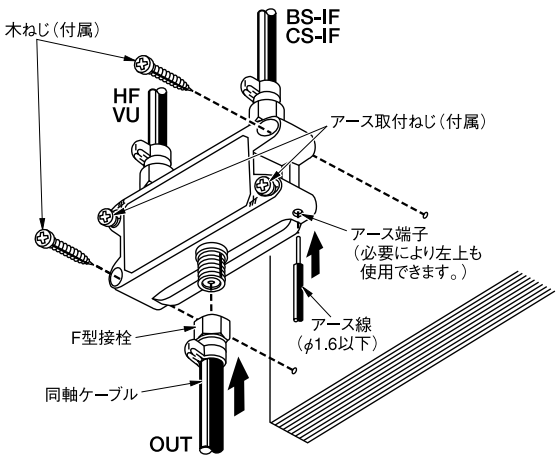
❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。長くしますと接栓座を破損します。



ポイント
- ●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかを確認してください。
- ●芯線に付着物がないか確認し、ある場合には、きれいにとってください。

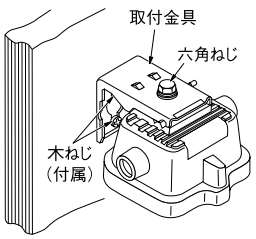
●屋内用取付例　MX-SWP3

ポイント 入力側で衛星アンテナやDCブースタを使用する場合は、AC電源でのご使用はおやめください。故障の原因になります。

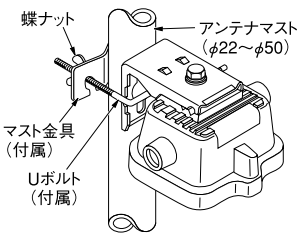


●屋外用取付例　MXC-CSWP2

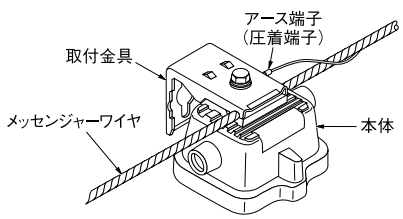
●壁面への取付方法



●マストへの取付方法

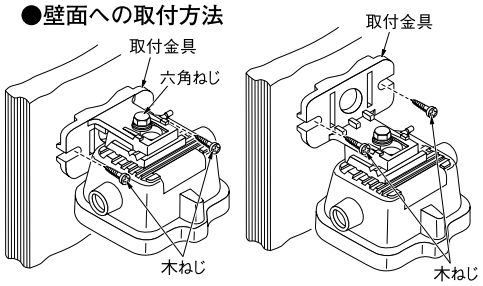


●メッセンジャーワイヤへの取付方法

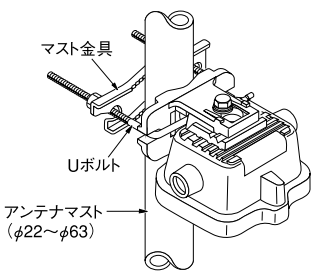


●屋外用取付例　MXC-SUVP2

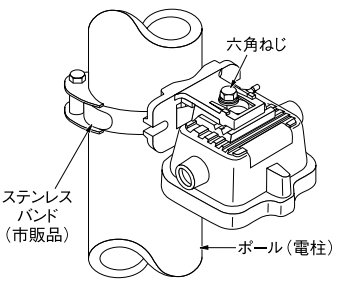
●壁面への取付方法



●マストへの取付方法



●ステンレスバンドによる取付方法



情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D8320000132　平成16年3月